

学術事業報告

学発番号：学13-016

研修会名：北部学術研究班・生理検査研修会

日時：平成25年7月12日(金)19:00～20:30

場所：綾部市立病院東館2階講堂

主題1：VAエコーの走査法について

講師1：人見泰正氏(綾部市立病院医療技術部臨床工学科主任)

主題2：

講師2：

参加数：19人(会員18人、非会員1人)

報告者：永野由香里(市立福知山市民病院)

以下、講演内容など

透析とシャントの基礎、シャントエコーの基本走査、シャント血流機能評価、形態評価の注意点など、初心者向きの内容で丁寧に講演していただきました。VAエコーの目的は、シャントトラブルを早期に発見し、シャント不全を未然に防ぐこと、シャントトラブルで最も多いのは狭窄である、狭窄は放置しておくこと閉塞(シャント不全)に至る。シャントの基礎を理解し、理学所見をもとに、トラブルに対する考え方を習得する。エコー所見は血流機能評価で予測を立てて、形態評価で病態を確定する。治療に役立ち活用できる報告書を作成する。透析やVAエコーは今まで馴染みがありませんでしたが、今後臨床検査技師の活躍が期待できる分野であると思われま